



日本共産党平塚市議会議員団
電話0463-23-1111 (内線2375)
平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

No.1417 2017年 8月 6日号

日本共産党平塚市議会議員団
団長 高山和義
電話・FAX 31-4638
k.takayama@mb.scn-net.ne.jp
松本敏子
電話・FAX 59-4607
mail@matsumoto-toshiko.jp
渡辺敏光
電話・FAX 31-6431
w-toshi@agate.plala.or.jp

無料法律相談
今回は 9月21日(木)
午後4時～6時(要予約)

平塚市議会6月定例会から

H28年度平塚市市民意識調査結果報告書から

前回調査から市民の意識と、市政に対する評価はどう変化したか
—とくに「活力とにぎわいのあるまちづくり」から—

(2017年6月14日 総括質問での渡辺質問からその2)

今回の市民意識調査は2016年度から2023年度の「平塚市総合計画」策定後の調査になります(前回調査は3年前)。

今後の施策の推進の重要な基礎資料になるもので、4分野・30項目について調査でした。4分野は ○豊かな心と文化をはぐくむ ○安心して暮らせる支え合いのまちづくり ○自然と人が共生するまちづくり ○活力とにぎわいのあるまちづくり、です。今回は「活力とにぎわいのあるまちづくり」を中心に報告します。

【Q】「中心市街地の賑わい」では、今回全30項目中、満足度が一番低い。どのように分析を。

【A】中心商店街は非常に期待されている。前回活気がないという評価であったが、今回若干満足度が上がっている。大型商業施設ができたこともあるかもしれない。

【Q】商工会議所のアンケートでは、大型商業施設の開業が悪い方にでているという結果だ。全国的にも中心商店街は厳しい状況に。順調に営業されている商店

<活力とにぎわいのまちづくり> (単位：%)

	重要度	満足度	不満足
雇用の確保・働きやすい環境	70.7	6.6	24.2
中心市街地のにぎわい	64.1	9	31.4
産業の活性化	59.1	6.5	18.5
農業の振興	59.1	7	18.9
漁業の振興	51.8	7.1	16.4
観光の振興	50.5	7.7	22.3
工業の振興	49.7	7	16.1
全 体	55	5.7	18.5

<調査方法>

市内在住
16才以上
男女3千人
住民基本台帳より
無作為抽出(郵送)
有効回収数 1276件
有効回収率 42.6%

街は全国で2.2パーセント。

人口20万人～30万人の都市では繁栄しているのは3.4パーセント。衰退が63.4%という調査もある。

以前の本会議で大型商業施設の影響についての質問で、お客の差別化で中心商店街も活性化。大型商業施設には若い層が市内外から訪れる。中心商店街には、市内の高齢者層が、ということで市全体が活性化すると。

【A】既存の中心商店街の商店は影響少ない。大型店は影響大きい。競合する部分がある。中心商店街もキラキラ商店街事業など、お客さんにもう一度目を向けてもらう取り組み、店舗の魅力を発信し回帰につなげる取り組みを実施し。

産業分野だけの比較では、6項目の中で「中心商店街のにぎわい」は重要度は1位。満足度は前回6位から1位にあがった。

【Q】大型商業施設関係の影響で、全国的調査ではどこも活性化できない。

うまくいかない理由で、人口減少もあるが、大型店の規制ができていないことがある。影響についての対応について再度聞く。

【A】郊外量販店は自動車の影響で客が流れる。中心街で人が住む、生活するところ、商業活動が近接することが求められる。

【Q】市民が望む商店街は、○いい店がある ○店の種類が揃っている、という。

日常的な買い物ができる商店街をどう残すかが政策的に重要。「総合計画」での「担い手育成支援」が大事。商店街全体の活性化はすぐには難しいが、成果を上げられる人が経験から商店街全体を変えていける。

【A】若い担い手の力が重要である。「キラキラ商店街」「街ゼミ」「マルシェ」などの活動、自分の商店を宣伝する活動を始めている。

閉鎖されていた公園（自主管理公園）、 市民の運動で再開が決まる

—四之宮マックスバリュウ隣接公園—

公園・緑地は都市の快適な環境をつくり、市民の憩いやレクリエーションの場、健康づくりや自然とのふれあいの場の提供など、市民生活に密着した施設です。

平塚市の都市公園は280カ所、141.67ヘクタール（2017年4月1日時点）。「平塚市緑の基本計画」では市民ひとりあたりの都市公園面積の目標は2029年度までに8.67平方メートル。現在は5.51平方メートル（2017年4月1日現在）。

今年2月に真土、四ノ宮地域にお住まいの方々から、近所に公園がなくて不便である、公園を設置してほしいという声が寄せられました。

調査をすると、たしかに四ノ宮地域は公園の数は少なく、小さなお子さんをもつお母さんには不便であることがわかりました。

この公園設置を求める声にどう応えるか、2017年6月議会での渡辺総括質問のテーマの一つにしました（議員団ニュース2017年7月2日号参照）。

そのような中、市民の方から、マックスバリュウ四之宮店の敷地内の公園が閉鎖されている。利用できないのか、との声がだされました。

この声に対し、再開を求める署名が集められ、マックスバリュウ四之宮店に以下の内容で要望が行なわれました。

<マックスバリュウ隣接公園の再開のお願い>

貴店の北側敷地内に、「ちびっ子公園」があります。この公園は11年前に建設されたものですが、5年前から閉鎖されています。

この公園は、平塚市と建設業者の協定により設置され、マックスバリュウが自主管理することになっています。

四之宮2丁目付近には公園が少なく、子どもたちが楽しく遊ぶ場所もない



状況です。

この公園は雑草や雑木が生い茂り、夏場には蚊が発生し、住民の生活環境にも影響があるかと思えます。また火災も懸念されるところです。

貴店としても防犯上も懸念されるのであれば、夜間には閉鎖するなり、警備員の巡回区域に入れていただいてもよいかと思えます。

公園の再開をお願いいたします。

なお公園は、マックスバリュウ本社の管理であり、以前この公園で暴力事件があったため、その後閉鎖しているとのことでした。

市民の強い声を伝え、交渉を進める中で7月に本社より以下の内容で再開するとの電話連絡がありました。

マックスバリュウ隣接公園は9月より整備・再開します

「この公園では、6年前に暴行事件が発生し、以後閉鎖してきた経過があります。ご近所の皆様にはご不便をかけてきました。市民の皆さんの要望にお応えし、公園の整備と再開について検討してきました。

本社として、再び事件が発生させないためにも考え、公園内の樹木・雑草を伐採し、外部から見えやすくすることや、遊具の整備などを行い、9月から再開いたします。

なお当面は土日の週二日、夕方5時半までの開園とし、様子を見ながら開園日を広げていきたいと考えています」。

*この「回答」は本社担当者より電話連絡によるもので、渡辺事務所スタッフが受け、文書にしたものです。よって内容についての責任は渡辺市議が負うものです。



現在閉園の施設内公園

お知らせ
次回の「議員団
ニュース（8
月13日号）
は休刊しま
す。ご了承
下さい。